

## ワークショップの5日間

<3月13日(1日目)>

1) 開会、ワークショップの説明の後、自己紹介などを行うアイスブレイクを行いました。



2) 基調講演の先生方の話を聞き、質疑応答を行います。



(3) 夜にはグループワークで議論すべき論点を抽出します。



<3月14日(2日目)>

(1) 快晴の中、現地見学をしました。午前中は、千葉エコ・エネルギーさんの営農型太陽光発電施設を見学しました。



(2) お弁当を頂いた後、JFE スチール東日本製鉄所（千葉地区）に移動します。



(3) JFE スチール東日本製鉄所（千葉地区）の見学センターで説明を聞いた後で製鉄プロセスを見学しました。



(4) 夜はグループワークとして、課題の整理、望ましい未来像の検討を行いました。



<3月15日(3日目)>

(1) 午後、国際認証について、最新の動向や企業の取組についての講演を聴き、ディスカッションしました。





(2) 地域脱炭素取組の実例として、脱炭素先行地域に選ばれた高知県黒潮町の御担当者からオンラインで話を聞きました。



<3月16日(4日目)>

(1) 朝から提案作成に向けて議論します。アドバイザーからコメントを聞いたりしつつ、まとめていきます。





(2) 午後に、明日のプレゼンに向けてリハーサルを行い、アドバイザーからコメントをもらいました。



<3月17日(5日目)>

リハーサルを経てブラッシュアップした提案のプレゼンを行います





評価ポイント		
オリジナリティ	いままで行われていたこととは違う内容で、提案内容が新しいアイデアであること	1-10
実現可能性	実施の方法論が斬新なこと ミッション（目的）が明確なこと 事業を行う主体や関与（協力）する人が想定できること	1-10
効果	費用対効果が示されている（コスト、収入見込） ビジョン（ありたい将来像）との関係が明確なこと 社会課題に結び付いていること 効果が現れる主体が特定され、その主体から見た効果が明確なこと 波及効果があること	1-10
プレゼン	説明方法やプレゼンが具体的イメージがつかめ聞いている人に分かりやすいこと	1-10
		40点満点

(2) アドバイザーからコメントをもらいます。



(3) 参加者全員の投票により1位、2位を決め、表彰しました。

1位 認証2チーム「お菓子パラダイス」 2位 電力1チーム



(4) 閉会です。記念撮影をして解散しました。5日間お疲れ様でした。



● 発表会及びトークセッション

(1) 6月5日に東京理科大学において、産業界のゲストの方々からのトークセッション、地域脱炭素及び電力に関する、学生の提案発表会を行いました。



(左) ゲストの方々（左から、山口ユビ電社長、岡本東京電力PG副社長、沼田町おこしエネルギー会長）

(下) 発表風景



(下) ゲストの方々から、前向きなコメントを色々頂くことが来ましたが、最後に高村実行委員長から閉会のあいさつで、無事終了しました。終了後は、参加者が学内で懇親会を開き、引き続き意見交換を行いました。



(2) 6月6日に早稲田大学において、鉄鋼、認証の学生の提案発表会を行いました。ゲストの方々から、最近の動きなどのお話を頂きました。



トークセッションでは、鉄鋼で、JFEスチール鷲見様、大成建設佐々木様、チッセングループ・ニコラス様からのお話を頂きました。司会東大杉山さん。認証では、日本マクドナルド前澤さま、セブン&アイホールディングス鈴木様、フェアトレードカンパニー鈴木様からお話を頂きました。

提案発表では、3月からさらに工夫した提案を発表しました。



ゲストの方々からは、具体的な質問がいろいろでしたが、社内で検討した結果をもとにしたコメントもあり、今後の事業への進展が期待されました。



